

作品の「響き合い」楽しんで



熊本市現代美術館 新収蔵作品展

熊本市現代美術館（中央区）が2023（24年度）に収集した作品を紹介する「新収蔵作品展」が27日、同館ギャラリーで始まった。7月27日まで。無料。

新たに収蔵した32点のうち、日本画家の中村賢次さんをはじめ、武内明子さんや坂本夏子さんら熊本ゆかりの作家6人の8点を、既存のコレクションと織り交ぜて計18点展示。写真家齋藤陽道さんの「草千里ヶ浜」は、地球の原風景を思わせる阿蘇の草千里ヶ浜で、ぼつんとたたずむ子どもを写した幻想的な作品。ゆった

りとした水辺の風景を描いた故牛島憲之さんの木版画と並ぶと、自然の多面的な表情を感じられる。

稲垣向^{ひまわり}日葵学芸員は「新旧のコレクションの響き合いをぜひ楽しんでほしい」と話している。7月12、26日は担当学芸員と会場を巡るギャラリーツアー、21日には齋藤さんのアーティストトーク（手話通訳付き）がある。いずれも午後2時から。（澤本麻里子）